

(株)ミツトヨ 中津川工場

中津川市・精密測定機器

従業員数／男性131名 女性79名 計210名 ※令和5年11月現在

エクセレント
POINT

- ①社員の健康増進のための多彩な企画を展開
- ②社員の発案を形にする「中津川ドリームプロジェクト」
- ③「BUKATSUJ」を通じ、部署を超えてコミュニケーションを活性化



社内施設「夢恵庵」で行われるヨガ教室は毎回参加者がいるほど好評。

ミツトヨ中津川工場では社員の健康増進のため、2021年4月～6月の3ヶ月間、社員を20チームに分けて歩数を競い合う企画を実施。1日に2万3000歩も歩く社員がいたり、「目標ができた」との声が上がるなど、運動に対して前向きな反応が見受けられた。健康意識向上のための企画であるが、職場や年齢に関係なくチームを分けたことで、普段は接点のない社員同士の交流も生まれた。

また、ノーカーの終業後の有効利用として、参加可能な社員が雇用形態に関係なく、社内で催されるヨガ教室やエクササイズ教室で体を動かす。ヨガ教室は外部講師を招いて1カ月に2回ほど

行っており、毎回参加する社員が多いほど好評。社員の健康を促進するための今後の取組みとして、工場敷地の外周にランニングロードを新設する予定だ。

20年からは、社内で行いたいことや改善したいことがある社員同士が集まって意見を交わし、会社に企画を提案する「中津川ドリームプロジェクト」を開始。これまでに5件の提案があり、休憩室の床や机などを変更して明るい雰囲気になり、電子マネーに対応した自動販売機の導入、社内での菓子販売などを実現した。購買課の鈴木

勝巳さんは「自分たちの想いを聞いてもらえる環境がある」と実感している。

また、「BUKATSUJ」規程を設け、有志で結成したマラソン部、野球部など5つの部活に対して会社が活動費を補助しており、約50人が部活に所属。中でも陸上部は中津川工場のアーチィーフェスタでライブを行うなど精力的に活動している。



部署の垣根を越えて社員が集まり、会社に企画を提案する「中津川ドリームプロジェクト」。

健康推進と社員の発案を重視